



栄養治療センター通信



発行: 東邦大学医療センター大森病院 栄養治療センター
編集委員: 平澤、山崎、清水、田中、鈴木、石井、長岡、加藤、津山、関谷、鷺澤

Vol.008
2021年3月発行



今月のテーマ: 創傷治癒に有効な栄養剤



皆さんはじめまして。褥瘡ケアチーム管理栄養士の中西将です。
突然ですが、皆さんの中にも外傷、術後創部離開等の創傷治癒に難渋した経験がある方は
少なくないのではないのでしょうか。

創傷治療は、**局所管理・体圧管理・栄養管理**が重要となりますが、どこかが欠けると治癒
遅延の原因となります。褥瘡ケアチームや栄養サポートチーム(NST)では創傷治療として特
殊な栄養剤等を使用した栄養管理を行います。そこで今回は、褥瘡ケアチームやNSTが創
傷栄養サポートとして使用する特殊な栄養剤についてご紹介します。



☆創傷栄養管理に有効な特定栄養素☆

アルギニン	プロリンや成長ホルモン産生による蛋白質やコラーゲンの合成促進 ポリアミン産生による細胞分裂促進、免疫賦活 NO産生による血管拡張(※重症患者は炎症助長に要注意)
オルニチン	プロリンや成長ホルモン産生による蛋白質やコラーゲンの合成促進 ポリアミン産生による細胞分裂促進、免疫賦活
コラーゲンペプチド	コラーゲン合成促進
n-3系脂肪酸	コラーゲン合成促進、抗炎症作用
HMB(β-ヒドロキシ-β-メチル酪酸)	蛋白質やコラーゲンの合成促進、体蛋白質の分解抑制、抗炎症作用

☆特定栄養素を含む栄養補助食品☆

アバンド®

- ・アルギニン7000mg
- ・グルタミン7000mg
- ・HMB1500mg
(β-ヒドロキシ-β-メチル酪酸)



ファイ・クレスCP10®

- ・コラーゲンペプチド10g
- ・ビタミン全般
- ・微量元素全般



オルニュート®

- ・オルニチン1250mg
- ・グルタミン1000mg
- ・亜鉛
- ・ビタミンA
- ・ビタミンC



ファイ・クレスBIO®

- ・ビタミン全般
- ・微量元素全般



アバンド®, オルニュート®, ファイ・クレスCP10®については、**投与エネルギー**
や蛋白質量が充足できていない場合、創傷治癒として有効に働かないため、
まずは**食事や経管栄養等でエネルギー・蛋白質を十分に確保**することが条件と
なります。こういった注意点を踏まえ、創傷治癒を円滑に進められるようお力添
えできればと思います。入院中の創傷栄養管理についてはNST・褥瘡ケアチ
ームにお気軽にご相談ください。

NST・褥瘡ケアチーム 管理栄養士 中西将

